

高齢者の低栄養予防で地域活性化を促す生涯活躍のまち推進事業

取組開始時期	2019年	取組の カテゴリー	①地域活性化	応募部門 (○を付ける)	PF会員間連携部門	○	一般部門
--------	-------	--------------	--------	-----------------	-----------	---	------

1. 団体名	一社) 在宅栄養ケア推進基金	2. 連携先の 団体	◎高知市/◎高知県（自治体）、JA高知中央会、保険調剤薬局				
--------	----------------	---------------	-------------------------------	--	--	--	--

3. 取組 目的	低栄養予防で農業を活性化し、生涯活躍のまちを創出します			4. 関連する ゴール	  
-------------	-----------------------------	--	--	----------------	---

5. 取組経緯

高齢化や医師の偏在により疲弊する地域医療の維持存続を図るため、厚生労働省/医療費適正化推進事業「高齢者の低栄養防止・重症化予防等推進事業」、農林水産省「医福食農連携推進事業」に参画、高齢者がセルフメディケーションで低栄養予防に努められるよう、低栄養予防に資する調剤薬局を体系化し、医福食農連携で地域医療と農業をを守る生涯活躍のまち（内閣府/地方創生事業）の創出に務めています。

6. 取組概要（100字以内） ※ 1次選考にて、投票ページに掲載します

低栄養予防に資する調剤薬局を整備し、薬食同源で農産物の機能性を訴求することで農産物の需要拡大、6次産業化を促し、農業者の所得増大（就農促進）と健康寿命延伸に資する「生涯活躍のまち」を創出します。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・低栄養予防による高齢者の健康寿命延伸の下、高齢者が生涯現役で社会参加できるまちづくりを創出
- ・医療費/介護費を適正化する公民連携事業
- ・農業の活性化（農産物の高付加価値化、6次産業化の推進、就農促進、移住定住の促進）

ステークホルダーとの連携

- ・高知市/高知県（自治体）との連携
- ・JA（健康寿命100歳プロジェクト）との連携
- ・調剤薬局、食品企業、農業法人、医療機関、介護福祉事業者との連携

モデル性・波及性

高齢化、就農者不足により衰退する農業を高齢者の低栄養予防により農産物の需要拡大・高付加価値化により活性化し、健康寿命延伸と農業者の所得増大を図る「低栄養予防事業」は、各地の自治体、JAと協働し全国展開します。



7.取組詳細 (取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)

低栄養予防が健康寿命延伸と地域活性化を促します



栄養ケアサポート薬局(薬剤師)

栄養ケアサポート薬局は、高齢者のフレイル(虚弱)の起因となる低栄養を予防する薬局です。
 高齢者の低栄養予防は、免疫力を向上し、感染症の予防、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)予防により、介護予防の効果が高まります。
 低栄養は、薬の有害事象が原因で発症することが報告されていますので、医師と共同で、薬害や病気、精神的要因、口腔機能による低栄養を予防し、薬食同源で、農産物の消費拡大に貢献します。

低栄養チェック

多職種による低栄養原因の探求→処置



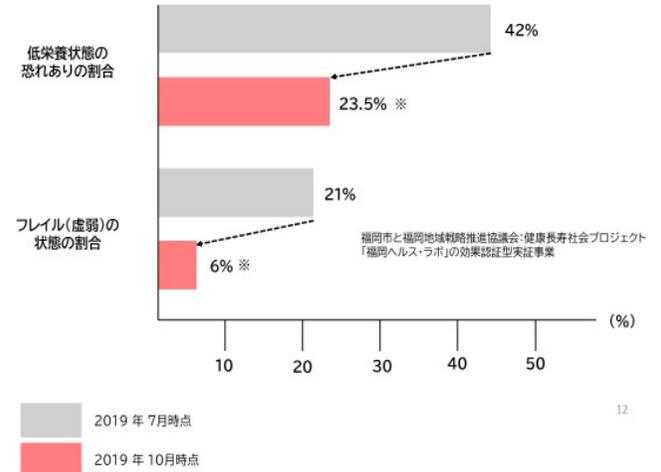
エネルギー・タンパク質の摂取



介護予防体操など
交流の場(サロン)



栄養ケアサポート薬局による低栄養/フレイル改善効果



高知県産ナス(機能性表示食品)の高血圧改善効果を 栄養ケアサポート薬局が、アピールします

